

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

現在、足立医療センター 内科では、土佐町から健診情報の提供を受けて、下記研究課題の実施に利用しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の健診情報を「この研究課題に対しては利用して欲しくない」と思われた場合には、下欄の研究内容の問い合わせ担当者、または土佐町のお申し出窓口（健康福祉課 健康係）のいずれかまでお申し出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

[研究課題名]

土佐町長寿健診における過去のバウムテスト描画特徴とその後の認知機能・ADL の関連に関する後方視的検討

[研究対象者]

2003 年 8 月 1 日から 2025 年 8 月 31 日までの間に実施された土佐町長寿健診において、バウムテスト（樹木画テスト）を受けられ、かつその後 2025 年 8 月 31 日までに 1 回以上の健診を受診された 75 歳以上の方（この研究では、この期間の過去の健診情報のみを利用します）

[提供を受け、本学で利用している健診情報の項目]

バウムテスト描画データ、認知機能検査（MMSE）測定値、日常生活動作（ADL）関連測定値（握力、歩行速度、Timed Up & Go Test〔TUG〕、開眼片足立ち）、年齢、性別、教育年数、基礎疾患（脳血管障害、糖尿病等）、視力、上肢運動機能に関する情報

[利用の目的]（遺伝子解析研究：無）

過去の健診で実施されたバウムテストの描画の形態的な特徴（樹木の大きさ、幹と樹冠の比率など）と、その後の認知機能や身体機能の変化との関連を調べることを目的としています。この研究により、高齢者の認知機能低下やフレイルの早期発見に役立つ知見を得ることをめざしています。

[情報の提供元]

土佐町

[研究実施期間]

倫理審査委員会承認後より 2027 年 3 月 31 日までの間（予定）

[主な提供方法]

電子的配信（大学メール間での送受信、パスワードロック付きファイル）

[この研究での健診情報の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、健診情報からはお名前、生年月日、住所などの情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[研究責任者、研究内容の問い合わせ担当者、および、お申し出窓口]

研究責任者	東京女子医科大学 足立医療センター 内科 講師 佐藤 恭子
研究内容の 問い合わせ担当者	東京女子医科大学 足立医療センター 内科 佐藤 恭子 電話：03-3857-0111（応対可能時間：平日 9 時～16 時）
お申し出窓口	土佐町 健康福祉課 健康係

(土佐町)	電話：0887-82-0480（土佐町役場代表）
-------	--------------------------